

# 歯科補綴学（クラウンブリッジ補綴学）

第5学年

## 【担当者】

教授：樋口大輔  
講師：笠原隼男、吉田裕哉  
助教：霜野良介、平井博一郎、吉野旭宏、柴田幸成  
助手：加納幸成、植野裕司、堀江貴裕、船岡俊介  
特任教授：鷹股哲也

## 【一般目標（GIO）】

クラウンブリッジ補綴学、口腔インプラント学に関する系統講義や模型実習を履修した学生が、実際に将来行われるべき補綴歯科診療に関する治療計画立案や基本的なクラウンブリッジによる補綴歯科診療を実施するために、必要な知識、態度および技能を習得する。

## 【行動目標（SBOs）】

1. 補綴歯科診療の流れを理解する。
2. 補綴歯科診療に必要な一般的な診察を行う。
3. 補綴歯科診療に特徴的な検査（フェイスボウトランスファー、ゴシックアーチ描記、チェックバイト法等）を理解する。
4. 各臨床操作の目的を理解する。
5. 各臨床操作の方法を理解する。
6. 各臨床操作を相互実習として実施する。（概形印象採得、精密印象採得、顎間関係記録）
7. 各技工操作の目的を理解する。
8. 各技工操作の内容を理解する。
9. 技工操作を相互実習として実施する。（研究用模型製作、個人トレー製作、作業用模型製作、咬合器装着、顎路調節）
10. 歯冠欠損・少数歯欠損歯列の病態を理解する。
11. 歯冠欠損・少数歯欠損歯列に対する診断を行う。
12. 診断に基づき合理的な治療計画立案をする。
13. 顎口腔機能の回復に必要な他科との連携を理解する。
14. 高齢者の基礎疾患や社会的立場を把握し、適切に配慮する。
15. クラウンブリッジ装着後に生じる問題の原因と対処法を理解する。

## 【教科書・参考書】

〔教科書〕 藍 稔：「補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識」（学建書院）

矢谷博文ほか編：「クラウンブリッジ補綴学（第6版）」（医歯薬出版）

三浦宏之ほか編：「クラウンブリッジテクニック（第2版）」（医歯薬出版）

赤川安正ほか編：「よく分かる口腔インプラント学 第4版」（医歯薬出版）

岩田隆紀ほか編：「歯科衛生士・歯科助手 おしごとハンドブック」（クインテッセンス出版）

〔参考書〕 市川哲雄ほか編「無歯顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版）

細井紀雄ほか編：「コンプリートデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

藍 稔ほか編：「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学（第3版）」（学建書院）

大久保力廣ほか編：「パーシャルデンチャーテクニック（第6版）」（医歯薬出版）

山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無歯顎補綴学」（学建書院）

黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院）

山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店）

赤川安正ほか：「歯科学生のパーシャルデンチャー（第6版）」（医歯薬出版）

石上 元ほか編：「冠橋義歯補綴学テキスト（第5版）」（永末書店）

古谷野潔ほか編：「新編 顎関節症（改訂版）」（永末書店）

森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版）  
佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学」（永末書店）

**【教育（学習）方略（LS）】**

1. マネキンを使用し、支台歯形成を行う。
2. 各自の理解度、経験に応じてチーム診療の一員としての役割を担う。

**【フィードバック方法】**

臨床実習手帳に基づき個別指導を行う。

**【評価方法（Evaluation）】**

以下により総合的に評価する。

1. 知識：実力試験、レポート、口頭試問
2. 技能：相互実習、技能試験
3. 態度：出席状態および診療見学を含む実習への取り組み

**【注意事項】**

欠席は特別な理由がない限り認めない。

**【準備学習時間（予習・復習）】**

60分

予 習：事前に実習内容および予定を臨床実習手帳を元に確認し、しっかり準備する。(20分)

復 習：臨床実習手帳に記入した実習内容を復習する。(40分)

**【オフィスアワー】**

月曜日～金曜日 17：30まで

本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室

いずれも事前連絡、予約が望ましい。